第5章 千葉県業務継続計画(震災編)の推進

1 職員の意識向上

千葉県業務継続計画(震災編)に基づき、災害時優先業務を効果的に遂行する ためには、全職員が「業務継続の重要性」を共通認識とすることが重要になります。

このため、庁内ホームページに「千葉県業務継続計画(震災編)」の修正を掲載し、 その内容を全職員に周知するとともに、危機管理週間(4月下旬)において、各所 属で人事異動に伴う職員の参集予測の見直しや転入職員に対する災害時優先業務 の周知を行うなど、職員の意識の向上を図ります。

2 継続的な改善・実効性の確保

業務継続計画が災害時に有効に機能するよう、各所属において

- 担当職員以外でも円滑に業務を実施できるよう、災害時優先業務のマニュ アルの作成や見直しを行います。
- 災害時優先業務と共通資源(ヒト、モノ、情報等)の配分について、日頃から点検を行い、特に危機管理促進月間において、一層の推進を図るなど、継続的に計画の改善を行います。
- 各所属は、毎年度、人事異動をもとに職員の参集予測を行い、災害発生後1時間から1週間までの経過時間ごとの参集状況にあわせて、災害時優先業務に従事する人数を整理します(様式1)。

3 市町村との連携

市町村は、住民に対し、より身近な行政サービスを提供しており、県と市町村の 両者が業務継続や早期復旧を果たして、はじめて本来の行政サービスを提供する ことができます。

このため、業務継続計画策定に関する情報提供や助言を行い、市町村の業務継続 計画の策定、内容の充実及び職員に対する教育、訓練等の実施を引き続き支援しま す。

千葉県業務継続計画の修正履歴

修	正	年	月	修正等概要					
平成 22 年 5 月				千葉県業務継続計画の策定					
平成 25 年 1 月			В	一部修正(災害時優先業務の精査、職員参集予測の見直し、知事					
平成 20		941	千1月	の職務代理、代替施設、部内・部局間の応援体制を明記)					
平成 29 年 3 月				一部修正(職員参集予測の見直し、臨時参集職員の活用を明記)					

災害時優先業務・業務従事人数一覧

〇所属名

〇所	禺石			l		4 N+88	On+88	4 On+ 80	4.	0.	4 10000	
						1時間		12時間		3 	1 週間	
		業務種別	主な業務内容		必要 人数	経過時間別の参集人数 【うち臨時参集職員数】						
	業務名			業務評価								
				01100		[0]	(0)	[0]		= 1 mH		
						経過時間別の業務従事人数 主な業務内容のうち、実施する項目番号						
						土冶	未務内	合いつり	、夫他?	の垣口の	当ち	
1												
'												
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
	•				0	-	0	-	-	-		
			合計人数		Ο	Ο	Ο	Ο	Ο	Ο	Ο	
					<u> </u>							